

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		体育レクリエーション事業		担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯学習係	管理番号	73152	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	誰もが生きがいをもち学ぶことのできるまちづくり	根拠法令 個別計画等	社会教育法第22条					
	小項目	2	スポーツ・レクリエーションの推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		体育・レクリエーション活動を通じて、住民のコミュニケーションを図るため、12公民館の各地区市民を対象として、体育祭や球技大会、レクリエーション講座を開催し、地域住民のコミュニケーションや、世代間のコミュニティの推進を図る。事業内容としてはソフトボール大会、野球大会、グラウンド・ゴルフ大会、体育祭、バレーボール大会、納涼祭、公民館まつり、少年・少女マラソン大会等を実施している。								
目的 ※何のために		体育・レクリエーション活動を通じて、住民の地域参加を図るため								
対象 ※誰・何を対象に		12公民館の各地区市民								
手段 ※どのように		体育祭や球技大会、レクリエーション講座を開催する。								
成果 ※何を求めるか		地域住民のコミュニケーションや、世代間のコミュニティの推進をはかる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	体育・レクリエーション事業[深谷公民館]	158,649
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	体育・レクリエーション事業[藤沢公民館]	155,733
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	体育・レクリエーション事業[幡羅公民館]	120,340
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	体育・レクリエーション事業[明戸公民館]	235,593
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	体育・レクリエーション事業[大寄公民館]	0
本事業の 主な業務		・各公民館での体育祭の開催					・			
		・各公民館での球技大会の開催					・			
		・各公民館でのレクリエーション事業の開催					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		公民館まつりの開催 体育祭の開催 球技大会の開催	公民館まつりの開催 体育祭の開催 球技大会の開催				
事業費	予算(現額)	2,441,000	6,996,000	10,735,000	11,075,000		
	決算額	1,410,697	1,654,567	0	0		
	財源内訳	国支出金	19,000	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
	一般財源	1,391,697	1,654,567	10,735,000	11,075,000		
人件費	従事職員数(人)	0.02	0.05	0.05	0.05		
	人件費相当試算※	155,238	393,478	409,819	409,819		
総事業費試算		1,565,935	2,048,045	11,144,819	11,484,819		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
			実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所										
活動指標 1	実績値の算出式										
	体育レクリエーション事業開催日数（H 2 2 から設定）	目標値	日	168.00							
		実績値		93.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所			各公民館平均年間 1 4 回の開催を目標とし、 1 6 8 回を目標値とする。							
実績値の算出式											
活動指標 2	うち体育祭開催日数（H 2 2 から設定）	目標値	日	12.00							
		実績値		0.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所			各公民館年 1 回の開催を目標値とする。							
	実績値の算出式										
成果指標 1	体育レクリエーション事業参加者延数（H 2 2 から設定）	目標値	人	8,760.00							
		実績値		6,724.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所			各公民館年間参加者数 7 , 3 0 0 人とし、 8 7 , 6 0 0 人を目標値とする。							
	実績値の算出式										
成果指標 2	うち体育祭参加者数（H 2 2 から設定）	目標値	人	36,000.00							
		実績値		0.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所			各公民館年間参加者数 3 , 0 0 0 人とし、 3 6 , 0 0 0 人を目標値とする。							
	実績値の算出式										
		目標値									
		実績値									
	目標値の算定根拠/実績値の出所										
	実績値の算出式										
		目標値									
		実績値									
	目標値の算定根拠/実績値の出所										
	実績値の算出式										

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	C	各館における体育レクリエーション事業は、感染症予防対策を徹底し、各種事業の実施に努めているところである。令和4年度については、目標値（168日）には到達できなかったが、令和元年度実績に近い開催日数（93回）とすることができた。また、地区体育祭については、各館において地域関係団体等と体育祭の実施に関して検討を行ったが、全館中止（代替事業を実施した館もある）となった経緯である。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	C	体育レクリエーション事業参加者数は、体育祭中止により低い実績（6,724人）であるが、昨年度の実施（1,401人）を大きく上回ることができた。コロナ禍において、徐々に事業展開ができていく。
			評価者 生涯学習係長 荻塚 文彦

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	体育レクリエーション事業は、自治会やスポーツ各種団体など地域の団体と連携・協力し効率的に実施しているところである。
			評価者 生涯学習係長 荻塚 文彦

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	体育レクリエーション事業	担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯学習係	管理番号	73152
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直しして継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		地区体育祭は、各地域における地域振興に資する大きな取組である。また、体育レクリエーション事業は、市民の健康増進への関心が高まる中、ニーズに合致した重要な取組といえる。引き続き、感染症予防対策を徹底し、各種事業を展開していく。 特に、体育祭については、事業の方向性（継続実施、内容の見直し、代替え案等）について、地域の関係団体と十分に協議を行い、事業展開を図る。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	生涯学習スポーツ振興課長 荻塚 洋明				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	

8. 評価指標グラフ

